



アートで知る
わたしのまち

活動報告書



寺子屋の会

開催概要

・概要と目的

Oterart (お寺+アート) は金沢在住の作家、美大生等が参加し、お寺を舞台に作品展を開催してきました。第6回目を迎える本年は「獅子吼」をテーマに11カ寺を会場として約60名が出展。

会場の一つである浄光寺ではOterartと共同開催というかたちで、「アートで知る私のまち」と題して、幕末の地元、^{だいじゅめ}大衆免(現在の金沢市森山)を舞台とした時代小説『獅子で勝負だ、菊三』(剣町柳一郎)に描かれている世界を森山町小学校の生徒と森山小卒で沈金師の芝山佳範氏が共同でアート作品として表現。アートを通して地域の忘れ去られた歴史や文化を再発見することを目的とした事業。

・開催日

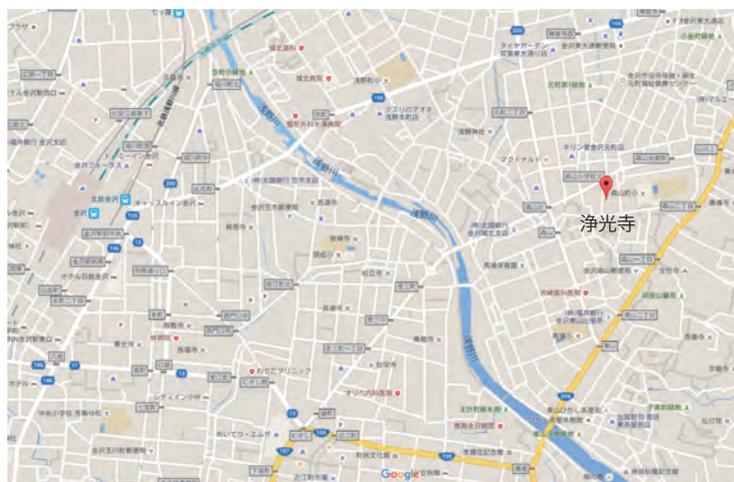
平成27年9月5日(土) → 13日(日) 午後1時→午後6時

・会場

金沢市森山 2-19-32

真宗大谷派 龍向山 浄光寺

金沢駅より車でひがし茶屋街方向へ約10分、森山町小学校から徒歩1分に位置する。550年以上の歴史がある真宗大谷派(親鸞聖人・東本願寺)の寺院。



・主催

寺子屋の会

・参加者

作品制作

イラスト 3年生全員71名、指導：芝山佳範(沈金師)

小説暗唱 1~6年生116名、撮影編集：藤任章(浄光寺住職) ※森山町小の全校生徒は332名

その他展示 芝山佳範、太平侑花(クレイクラフト)、中原梨容子(日本画)、藤任章

講師等

剣町柳一郎(小説家)、宮文子(染色家)、有延宏之(コーヒー講師)、松永松味堂3名(かき氷)

来場者

約1500名

「獅子で勝負だ、菊三」 剣町柳一郎

- あらすじ -

弘化二年、加賀前田家十二代藩主齊泰の病が平癒したことで、盆正月と呼ばれる祭りが行われることになった。加賀藩はとくべつな祝い事がある時に、盆正月が行われることになっている。町内毎に出し物が演じられ、七福神の造り物や獅子舞いが城下を練り歩く。その列の順は籤引きで決められる。大店が立ち並ぶ森下町もりもとまちの前に、地子町である大衆免町だいじゅめまちの獅子がくることになった。森下町では名人大野弁吉が獅子頭を彫ったばかりで、大衆免町のあばれ獅子の前に披露したいのだった。

祭りが近づいた日、大衆免町ではあばれ獅子の角が無くなっているのに気付く。両町の若衆がそのことで喧嘩になろうとする。大衆免の町肝煎が「祭りの前に喧嘩はよくない、獅子同士の喧嘩はどうだろうか」と、森下町の町肝煎に持ちかける。雨を降らせるうなり獅子、晴れを望むあばれ獅子。金も時間もない大衆免町は、仏壇の木地彫りをしている菊三に頼み込んで獅子を彫らせる。菊三は考えた挙句、雨の降る日に履く高下駄の古木歯で獅子頭をつくり鹿皮を張った。世を睨み、悪人を、殿様を睨む、八方睨みの獅子である。あばれ獅子の角は浄光寺の大銀杏の根元に埋められていた。

祭り当日、雨が降ると森下町の若衆から喚声があがり、雨が止むと大衆免から声があがった。そのうちふと振り返ると、大きな虹が城下にかかっているではないか。誰もが空を見て、ワーッと喚声をあげた。

「これは、勝ち負けなしだ。虹がふたつの町を架け渡している」

菊三は、天の采配に感心した。



剣町柳一郎 (つるぎまち・りゅういちろう)
小説家 / コピーライター / 金城大学非常勤講師
『獅子で勝負だ、菊三』をはじめ金澤城下を舞台とした時代小説を多く執筆。ちよだ文学賞、泉鏡花金沢市民文学賞などを受賞。

大衆免(だいじゅめ)



現在の森山や元町周辺をさす地名で、少なくとも今から 650 年以上昔から伝わる名称。大衆免村より町建された大衆免町には大衆免の名を冠した町が狭い地区に乱立した。

「この付近は昔、神宮寺の大衆の領田で、税が免除されていたのでこの名がついたといわれ、明治初年には大衆免を冠する町が十八あった」と豎町(森山 1 丁目)の児童公園に建つ石柱に記されている。

神宮寺とは、一帯が二条家領の小坂荘であった時、春日神社(小坂神社)の別当寺で、現在の神宮寺町にあったとされる。大衆とはお坊さんのことで、神宮寺に奉仕するお坊さんが持っている土地はすべて免税だったことに由来する。

活動記録 - 獅子頭のスケッチ -

・7月3日(金) 午前8時30分～午後12時30分

参加人数 71名 場所 森山町小学校

当日までに小説に登場する獅子頭を調査、発掘し学校に搬入。沈金師の芝山佳範さん指導のもと3年生3クラスが獅子頭をスケッチし、色付けをしました。



最初は本物の獅子頭の迫力に圧倒されていましたが、みんな真剣な表情でスケッチ。出来上がった作品はどれも色彩豊かで独創的!子供たちの素晴らしい感性に驚かされました。



7月4日「北國新聞」朝刊

翌日、当日の様子が新聞に掲載されました。

7月4日
「北陸中日新聞」朝刊

山と東山の獅子頭を子どもたちと一緒にス
キッチに参加し、「子
どもたちはいろいろな
色で獅子頭を表現して
おり、本当に発想が豊
か」とあらためて感心
していた。(島崎勝弘)

に森山と目の浄光寺で
開かれる「へん」で展示さ
れる。

中学生が本紹介
五川とも図書館
五川とも図書館は、中
生がお勧めの本を紹介す
る「ポンプリー」を企画
する。
中学生が市小中学校図書
購入組合の協力を得て、
本を紹介するポンプ作成
し、市内の書店に贈る。高
原台、奥、紫雲台の3中
校が参加し、市内の書店で
高回展示する。

森山町小児童
獅子頭を描く
9月に展示
森山町小の3年生1人は
日、四校で、卒業生で藤
沢友成(山達)さんの指
導を受け、小波神社などに
探訪されている獅子頭を点
をスケッチした。
児童が描いた絵は9月中

獅子頭をスケッチする児童
森山町小

活動記録 - 小説の暗唱 -

- ・8月25日(火) 午前10時～午前11時
- ・8月26日(水) 午前9時30分～午前11時30分

参加人数 116名 場所 森山町小学校校長室

森山町小学校では毎月「今月の詩」と題し詩を暗記し、校長先生の前で暗唱しています。普段から文学に親しんでいる子供たちに今回は、『獅子で勝負だ、菊三』を暗唱していただきました。暗唱している様子を撮影・編集してイベント当日にプロジェクターで上映しました。

参加したのは選抜された1年～6年生、116名。小説のクライマックス部分を一人ワンセンテンス～数行ずつ夏休み中に暗記していただき、登校日である8月25日、26日の両日を利用して撮影を行いました。場所はいつも子供たちが暗唱している校長室。25日は3年・6年生、26日は1年・2年・4年・5年生が参加しました。大人でも難しい言葉遣いをスラスラと暗唱している姿に驚かされました。地元の歴史や文学を身近に感じていただけたのではないのでしょうか。



告知用のチラシを5000枚配布しました。またオテラートのパンフレット(8000部)にも掲載。インターネット等でも告知しました。

2015 9/5(土)▶13(日)
午後1時▶午後6時

アートで知る わたしのまち

獅子で勝負だ!

大衆免の獅子頭が20年ぶりに里帰り

沈金師の芝山佳範さんと森山町小のみなさんがいっしょになって、幕末の大衆免を舞台に描かれた時代小説「獅子で勝負だ、菊三」の世界をアート作品として表現します。アートを通して忘れ去られた地域の歴史や文化を再発見しましょう!

作家 こどもアート

森下町

だいじゅめ

大衆免の獅子頭が20年ぶりに里帰り

沈金師の芝山佳範さんと森山町小のみなさんがいっしょになって、幕末の大衆免を舞台に描かれた時代小説「獅子で勝負だ、菊三」の世界をアート作品として表現します。アートを通して忘れ去られた地域の歴史や文化を再発見しましょう!

【主催】寺子屋の会

「獅子で勝負だ、菊三」

仏壇の「木彫り師」菊三は、出入り先の「仏壇問屋」と喧嘩して仕事をしなくなった。腕がよくて若い衆の面御見がよい菊三に、町同士の意地を懸けた祭りの出し物の「獅子頭」を彫ることを託された。「あなたの町の『うなり獅子』は雨を降らすと評判だ。うちの『あはれ獅子』は雨を止めさす。さあ、どちらが勝つかだ。」

森下町もどろもどろの雨獅子と大衆免だじゅめ「森山の晴れ獅子」：果たして勝負の行方は?!

「獅子で勝負だ、菊三」

仏壇の「木彫り師」菊三は、出入り先の「仏壇問屋」と喧嘩して仕事をしなくなった。腕がよくて若い衆の面御見がよい菊三に、町同士の意地を懸けた祭りの出し物の「獅子頭」を彫ることを託された。「あなたの町の『うなり獅子』は雨を降らすと評判だ。うちの『あはれ獅子』は雨を止めさす。さあ、どちらが勝つかだ。」

森下町もどろもどろの雨獅子と大衆免だじゅめ「森山の晴れ獅子」：果たして勝負の行方は?!

獅子アート展示

9月5日(土)~13日(日) 午後1時~6時

トークイベント

9月12日(土) 午後2時

「時代小説の面白さ」加賀獅子頭について」
講師 剣町 柳一郎 小説家

その他、作品展示やワークショップも開催! (詳しくは、裏面をご覧ください)

剣町 柳一郎 — 小説家

能美市在住

「獅子で勝負だ、菊三」をはじめ主に金沢城下を舞台とした時代小説を執筆

芝山 佳範 — 沈金師

津幡町在住 (森山町小卒)

国内外での展示やGallery&Workshop COLONY (広坂)を企画運営

【会場】浄光寺 【会期】9月5日(土)→13日(日) 午後1時→6時(入場無料)

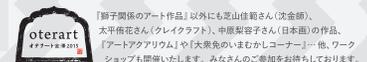
真宗大谷派 浄光寺 金沢市森山2-19-32

お問い合わせ ☎ 076-252-4922 / mail: info@jhokoji.net / web: www.jhokoji.net/

表面



オテラートのパンフレット表紙



9月5日(土)・6日(日)・12日(土)・13日(日)【会場】浄光寺境内

『松永松味堂のかき氷』午後1時~6時
名店の「かき氷」が限定販売!!
惜しまれつつも80年の歴史に幕を閉じた「松永松味堂のかき氷」を今年も味わうことができます!

9月5日(土)【会場】浄光寺境内

『野染め制作体験』午後2時~
【講師】宮 文子 (アヤエ工房) 主筆 — 染色アドバイザー
みんなで大染め体験をします。Tシャツやハンカチなど、染めたい物をご持参ください!

9月6日(日)【会場】浄光寺本堂

『アクセサリー作り』午後2時~4時
【講師】太平 侘花 — クレイクラフト 中原 梨香子 — 日本画
【体験】「アケセサリー作り」を体験して多分クイズや質問などのアクセサリー制作。獅子での参加も大歓迎。
『コーヒーハンドリップ講座』午後4時~ / 定員10名 ※要申し込み
【講師】有延 宏之 (アールカフェ) 代表 — コーヒーインストラクター1級
【ジャンル】ハンドドリップマシンメンテナンス / ファイナリスト が、美味しいコーヒーの淹れ方を伝授!

9月12日(土)【会場】浄光寺本堂

『トークイベント』午後2時~
【講師】剣町 柳一郎 — 小説家
「時代小説の面白さ」加賀獅子頭についての講演会。これを期に獅子の伝統に触れてみましょう!

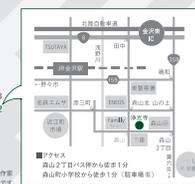
オテラート金澤2015は、3地区11会場で開催しています。伝統工芸から現代アートまで様々な作品に出会うことができます。

半町エリア
【北久崎】9月5-2-20 【北山崎】9月5-5-22
【承経寺】9月5-5-70 【安松寺】9月1-3-3

浅川エリア
【富家寺】9月5-13-25 【富家寺】9月5-13-23
【新野寺】9月5-4-43 【浄光寺】9月5-2-19-32

小立野エリア
【大津島】小立野4-4-4 【宝内寺】宝内6-4
【高瀬島】宝内7-16

※Oterartは、2日と1日(アート)を開催させていただきます。展示内容や会場・販売先の名前・番号等が異なります。アートグループ展です。



裏面

活動記録 - 子供たちの展示作品 -

・ 9月5日(土) → 13日(日) 午後1時～午後6時

来場者数約1500名 場所 浄光寺



小説にも登場する浄光寺を会場に大衆免町だいじゆめまち (現在の森山)と隣町である森下町もりもとまち (現在の馬場)の歴史ある獅子頭 (大衆免の四頭は石川県立歴史博物館より里帰りさせた)を中心とした作品を展示しました。

また会期中の各週末4日間はワークショップや剣町氏の講演会、昨年惜しまれつつ80年の歴史に幕を下した松永さんのかき氷の限定出店などもあり多くの来場者で賑わいました。



両町の獅子頭に合わせて蚊帳 (胴体) 部分を芝山さんと浄光寺住職で新たに2体制作。52mもの生地を縫い合わせた大きな蚊帳部分に前述の3年生が描いたカラフルな獅子頭のイラストを展示し、両町の獅子が向き合い勝負する姿を表現しました。

また子供たちの小説の暗唱を15分の映像作品にして常時上映しました。親子や友達同士で見入っている姿が印象的でした。



活動記録 - その他の展示作品 -



芝山さんは小説のラストシーンを沈金パネルとして制作しました。作品には大衆免町の晴れ獅子と森下町の雨獅子の間に虹が架かり和解する様子が描かれています。また境内の銀杏の木の下に獅子を隠したという小説のエピソードを再現。角を陶器で制作し銀杏の木の下に展示しました。その他文鎮や塗り絵用のイラストも制作しました。



住職は今回の小説を縁に獅子のことや大衆免の町名などについて調査し、旧町名マップや町名の由来や系譜図などのパネルを制作し展示しました。その他、オランダ獅子頭(金魚)を泳がせたちょっと不思議なドーム型の水槽、本堂地下には^{たいらゆか}太平侑花さんの樹脂粘土で造られた花々や^{なかはらりよこ}中原梨容子さんの日本画なども展示されました。



活動記録 - ワークショップ -

- ・9月5日(土) 午後2時～ 場所 浄光寺境内
「野染め制作体験」 宮文子(染色家)



講師に染色家^{みやあやこ}の宮文子さんをお迎えして「野染め制作体験」が行われました。最初は、大きな布にみんなで思いっきり色を乗せていき色の变化を楽しみました。その後、お持ちいただいたシャツや帽子、ストールなどを思い思いの色に染めました。赤ちゃんからお年寄まで幅広い年代の方が参加してくださいました。

活動記録 - 講演会&ワークショップ -

・9月12日(土) 午後2時～ 場所 浄光寺本堂

「トークイベント」 剣町柳一郎(小説家)



『獅子で勝負だ、菊三』の著者、つるぎまぢりゅういちろう 剣町柳一郎氏をお招きして講演会を開催しました。講題は「時代小説の面白さ - 加賀獅子頭について -」。今回の小説に登場した獅子頭や大衆免町、そして浄光寺のことなどを中心に加賀獅子頭や獅子舞、時代小説について語っていただきました。今回の小説を縁に獅子頭や大衆免について調べていくと史実と一致することが多く驚かされました。また同時に、フィクションとノンフィクションが交錯する時代小説の面白さに魅了されました。



6日・13日午後2時～ 「アクセサリー作り」

講師は作品も展示しているたいら 太平さんと中原さん。樹脂粘土やプラ板を使ってかわいいアクセサリーを作りました。女の子に大人気!好評につき最終日の13日にも追加で開かれました。



6日午後4時～「コーヒーハンドドリップ講座」

講師はコーヒーのスペシャリスト、アリーカフェありのぶひろゆきの有延宏さん。有延さんのお話は理論的かつ技術的なこともお話されますが、全く堅苦しいことなく、和やかな雰囲気で行っていききました。ご参加の皆さんはとても勉強熱心で、様々な質問が飛び交い熱いコーヒー講座となりました。淹れたコーヒは作家さんのカップで試飲。飲み比べを楽しみました。

活動記録 - 出店 -



5日・6日・12日・13日 松永松味堂のかき氷

オテラートの週末4日間限定で、5月
末で80年の歴史に幕を閉じた松永松
味堂のかき氷が境内に出店！

地域に愛された思い出の味を求めて連
日大行列ができました。

活動記録 - メディア情報 -



9月6日
山野市長来寺

9月11日
石川テレビ「みんなのニュース」



9月6日「北國新聞」朝刊



パネル展示などもあった。
13日まで。

事業の成果

- 今回の事業が地域の歴史や文化を知るきっかけとなった。
 - ・私たちの地域では、戦後一度も獅子舞が行われておらず、地元で伝わる獅子頭が存在するとすら忘れ去られています。今回その大衆免の獅子頭 4 頭を発見、調査。石川県立歴史博物館から里帰りさせ、子供たちをはじめ多くの方々にその存在を知っていただくことができました。
 - ・藩政期に 30 以上にも分かれていた大衆免町の旧町名マップや町名の由来、系譜図などを通して地域の歴史に触れる機会を設けることができました。
- 予想以上に多くの来場者があった。
 - ・親子連れをはじめ、子供から年配者まで幅広い年代の方に参加いただくことができました。
 - ・子供、作家、地域、学校がアートを通して上手く連動しことが集客につながったのではないかと。

課題

- ・今後の獅子頭の活用方法。

今回のイベントを縁として獅子舞の復活や獅子頭のこれからの維持管理のあり方について議論されることを期待したが、現状を打破しまちづくりにつなげていくことの難しさを知った。
- ・今回のイベントを縁に年配者から地域の昔話や情報を聞きたいと思っていたが、期待したほど新しい情報が集まらなかった。
- ・子供たちと一緒に地域を調査してマップ作りなどを行いたかったが時間的な問題で実現しなかった。

おわりに

今回のオテラート「アートで知るわたしのまち」という縁を通して私自身がいかに地元のことを知らなかったということに気づかされました。大衆免の獅子頭然り、大衆免町然り。知っていそうで知らない、知っているつもりになっていた地元を再発見する貴重なご縁となりました。

子供たち、作家さん方、地域の皆さん方、先生方、その他大勢の皆さん、そして「いしかわまちづくり技術センター」のご協力で無事に事業を実現することができました。この度のご縁を深く感謝申し上げます。



牝獅子(大衆免)



牡獅子(大衆免)



韋駄天(大衆免)



獅子舞の映像を観る



子獅子(大衆免)



百貫獅子(森下町)



「ししぬりえ」塗絵コーナーを常設。100枚塗ってくれました。



図工の授業でも来寺